

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

活動性がんを有する患者さんに発症した脳主幹動脈閉塞による急性期脳梗塞に対する血管内治療における治療戦略と治療成績の関連に関する後方視的観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月1日から2025年3月31日の間に昭和医科大学江東豊洲病院脳血管センターにおいて、急性期脳梗塞に対して血管内治療（機械的血栓回収療法）を受け、活動性がんを有していた患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

急性期脳梗塞に対する血管内治療は、科学的根拠が確立された標準治療です。活動性がんを有する患者さんにおいても治療の有効性は報告されていますが、使用する医療機器の種類によって治療成績やその後の経過に差があるかどうかは十分に明らかになっていません。

本研究では、当院で過去に治療を受けられた患者さんの診療情報を解析し、使用した治療方法と再開通率および機能予後との関連を検討します。本研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会の承認日および研究実施許可日より2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和医科大学江東豊洲病院の電子カルテに記録された以下の情報を用います。

- ・診療記録（年齢、性別、既往歴、内服薬など）
- ・がんの種類および状態
- ・脳梗塞の重症度や画像検査結果（CT、MRI、脳血管造影など）
- ・使用した医療機器の種類
- ・治療回数や治療結果
- ・合併症の有無
- ・退院時および治療後90日時点の状態
- ・入院期間
- ・その後のがん治療の継続状況

